

第73回ISO/TMB (技術管理評議会) 結果報告

経済産業省

産業技術環境局 基準認証経済連携室長

松本満男

平成30年10月30日

TMBの任務と議長・メンバー・事務局の紹介

1. 任務

- ISO規格作成に関する管理事務的事項
 - ✓ TC/SC/PCの設置・廃止、議長任命、幹事国割当、ISO/IEC専門業務指針の改訂等
- ISO規格作成に関する戦略的事項
 - ✓ 規格開発の効率化・迅速化、TC/SC戦略ビジネスプランの審議・承認、TC/SC活動の調整・モニタリング等

2. メンバー（出席者）

- TMB議長: Mr. Piet-Hein Daverveldt (オランダ)
- TMBメンバー（15名）: Mr. Steven Cornish (米), Ms. Amanda Richardson (英), Ms. Ulrike Bohnsack (独), Mr. Alain Costes (仏), Mr. Mitsuo Matsumoto (日), Mr. Chenguang Guo (中), Ms. Karin Lindmark (スウェーデン), Mr. Marcel Knecht (スイス), Mr. Adrian O'Connell (豪), Mr. Anton Shalaev (ロシア), Mr. Jin Su Chun (韓), Ms. Julia Bonner Douett (ジャマイカ), Ms. Merete Holmen Murvold (ノルウェー), Mr. Jesús Lucatero Díaz (メキシコ), Ms. Mojdeh Rowshan Tabari (イラン)
- ISO中央事務局: Ms. Sophie Clivio, Ms. Belinda Cleeland
- IEC中央事務局: Mr. Jack Sheldon, Mr. Ralph Sporer (SMB議長)
- オブザーバー: Ms. Sauw Kook Choy (次期TMB議長・シンガポール), Ms. Mkabi Walcott (カナダ)

【議題3.1.1】 Foundational Standards

<背景>

- 2017 年、Microsoft 社が新たな国際規格のカテゴリーとして、“foundational standards”を発案しISOにアプローチ。
- “foundational standards”とは、要求事項を含まず、低コスト/無償で利用可能とし、政府当局により利用される規格を指す。
- 2018年6月、CSC/SPはTMBで更に検討を行うことを指示。
- Microsoft社は、IECに対しても同様にアプローチ。
- ISO/IECには、‘horizontal subject’や‘horizontal publication’が存在。

【議題3.1.1】 Foundational Standards（続）

＜審議内容・結果＞ 決議番号：89/2018

- ISO-IEC Joint Task Forceの設立を承認。委任事項は下記のとおり。
 - ‘foundational standards’を定義
 - 市場ニーズを理解するため、ステークホルダーと接触
 - ‘foundational standards’のコンセプトについてSWOT分析
 - TMBとSMBが行うべき追加の行動を提唱
- メンバーはTMB/SMBの委員又は委員が任命した専門家及びISO/CSの代表。
- 議長はAlain Costes (AFNOR)を任命、事務局はISO/CS。
- 2019年2月のTMB会合で途中経過報告、2019年6月のTMB会合で最終報告。

【議題3.2.1】 代替標準化TF（TF17）による検討結果

<背景>

- 将来の規格開発環境に係る理事会AhGによる推奨事項のフォローアップ等を行うために、TF17（TF on Alternative Standardization Process for ISO）を設置。
- 下記の事項別にコンビナーを定め（1:豪、2:仏、3:イラン、4:独、5:露）、CSが事務局となって、電話会議等により議論を進めた結果を報告。
 1. 新規提案へのインプットを広く募るためのオンライン・ユーザーグループの設置
 2. DISへの一般関係者（NSB・国内委員会外）からのコメント聴取
 3. ソーシャルメディアの活用
 4. 規格開発プロセス途上での翻訳のベストプラクティス
 5. Machine Readable Standards

【議題3.2.1】 代替標準化TF（TF17）による検討結果（続）

＜審議内容・結果＞ 決議番号：90/2018

- ISO開発プロセスにおいて、ステークホルダーの存在は重要。
- ステークホルダーとの関与における最良事例として、ガイダンス文書“[Engaging stakeholders and building consensus](#)”の参照を推奨。
- ISOメンバーに自国での成功例やケーススタディの提出を依頼。

＜審議内容・結果＞ 決議番号：91/2018

- DISのコメントを募集するプラットフォームは即座には必要ないことを確認。
- 現在コメントを求めている全DISのリスト及び各国NCの連絡先のリンクをISOのウェブサイトに掲載するようISO/CSに指示。
- ISO独自のコメントツールの作成又はISOlutionといった既存のプラットフォームのいずれを好むか、コメントを募集するプラットフォームを持っていないメンバーの意見を聴取するようISO/CSに依頼。

【議題3.2.1】 代替標準化TF（TF17）による検討結果（続）

＜審議内容・結果＞ 決議番号：92/2018

- ISOメンバー及び委員会に以下の文書を普及促進を奨励。

- [ISO Social media guidelines](#)
- [ISO Social media guidelines for ISO committees](#)
- Guidance document on [Effective communication](#),
- ISO [Policy on communication of committee work](#)

＜審議内容・結果＞ 決議番号：93/2018

- 各国の翻訳プロセスを学ぶため、ISO/CSによる調査を実施。
 - ND/WD/CD/DIS/FDIS又は公開されたISのいずれの段階で翻訳が行われるのか
 - 翻訳費用の分担
 - 早期段階（ND/WD/CD/DIS/FDIS）での翻訳に必要な条件
- 調査結果を用いて翻訳のベストプラクティス（ガイダンス文書）を作成。

【議題3.2.1】 代替標準化TF（TF17）による検討結果（続）

＜審議内容・結果＞ 決議番号：94/2018

- Machine Readable StandardsについてSAGの設置を承認。
 - ✓ 委任事項
 - ・ ISO内で使用する機械可読規格の明確な定義の開発
 - ・ 人間による解釈を含めた機械可読規格の導入及び実施のロードマップの作成
 - ・ ISO規格のマッピング・優先順位付け、ISO/TC向けのガイドラインの作成 等
 - ✓ メンバー等
 - ・ TMB委員又はTMB委員によって委任された専門家及びITSAG、CPAG、IEC、ISO/CSからの代表者
 - ・ 幹 事：Anton Shalaev（GOST R）
 - ・ 事務局：ISO/CS
- TMB会合で毎回報告し、2019年末に最終報告実施。
- IEC-ISO合同SAGが望ましいか、IEC/SMBに検討を依頼。
- IEC/ISO/ITU合同グループの設置についても、第一回委員会で検討。

【議題3.4.1】 スマートシティTF(JSCTF)の設置

<背景>

- 2018年6月、IEC/ISO/ITU3機関による合同スマートシティTF（JSCTF）の創設を推奨。
- JSCTFの詳細な委任事項（TOR）は、IEC/ITUと連携の上、73回TMB(今次)会合で議論。

<審議内容・結果> 決議番号：95/2018

- IEC及びITUに対して、今回提案されたTORについての意見出しを含むフォローアップをISO/CSに要請。
- JSCTFは3機関の代表により構成。ISOからはISO/TC268（持続可能な都市とコミュニティ）又はISO/TC268 /SC1（スマート都市インフラ）のどちらかの議長をISO代表として任命。
- JSCTFが立ち上がり次第、ISO/SSCTFは解散。

【議題3.5.1】 欧州特許庁との合意文書

<背景>

- 各国特許庁との協定は、ISO文書へのアクセス権限を含めて、著作権に関する各国の法規を遵守しながら、各国標準化機関が判断。
- JTC1と欧州特許庁（EPO）間の文書提供に関する協定が交渉中。

- ・ 著作権

EPOの手続きに係る締約国は、外部に配布、複製することを禁止。
利用者には、事業者名等をウォーターマーク（すかし）として掲載。

- ・ 個人データの保護

ISO文書のアクセス権はEPO傘下の職員及び提供者に制限。

- ・ その他

EPOはISOに対して定期的に統計データを提供。
ISOガバナンス機関の指示により本協定を終了可能。

等

<審議内容・結果> 決議番号：96/2018

- EPOと交渉中の合意文書を承認。
- IECとの一貫性を担保するため、IECと欧州特許庁との契約状況を確認。
- 提供できる文書は、DIS未満の文書に限定。
- 今後、本合意文書は、NSBと各国特許庁とのガイダンスとして利用。

【議題3.5.2】 パテントポリシーグループ（PPG）の最新情報

＜審議内容・結果＞ 決議番号：97/2018

- 2年間のパイロット期間が2018年末に終了することを確認。
- 常設の委員会としての設置を承認。
- 常設委員会の設置に関する主な委任事項は下記のとおり。下線部分はパイロット期間からの変更部分。
 - ISO/IEC/ITU共通特許ポリシーについての議論を行うために設置。
 - 電話会議に限定せず、必要に応じて対面会議も実施。
 - 1月と6月に会議を開催し、それぞれ2月と9月のTMB会合に報告。
 - TMBが必要に応じて理事会に報告することで、報告をTMBに一本化。

【議題5.1.1】 SAG on Accessibilityの設置

＜審議内容・結果＞ 決議番号：99/2018

- 2年間のアクセシビリティに関するSAGの設置を決定。
- 委員は以下のTMBメンバーの代表者。
SIS(スウェーデン)、JISC(日)、BSI(英)、DGN(メキシコ)、ISIRI(イラン)、DIN(独)、ANSI(米)、BSJ(ジャマイカ)、SA(豪)、SAC(中)、KATS(韓)
- 幹事国にSIS、事務局にISO/CSを任命。
- 各TMB会合で報告、2020年9月のTMB会合で推奨事項と共に最終報告。
- Form4のアクセシビリティに関する質問のチェックボックスに関する問題についてDMTに再検討を指示。
- アクセシビリティに焦点を当てている、又はアクセシビリティの要素を含むISO規格を委員会及び規格利用者が見つけやすいよう分類されたICSコードの設定の可能性をISO/CSに調査を依頼。

【議題5.2.2】 新TC(Sustainable Finance)の設立

＜提案内容＞

- 英国がサステイナブルファイナンスに関する標準化（持続性を考慮した投資判断と財務管理を促進するための規格開発）を提案。
- 想定される規格内容は以下のとおり。
 1. 持続可能な財務管理のフレームワーク
 2. 持続可能性やE S G原則の、投資判断への統合
 3. Sustainable Cities, Natural Capital等の分野別の議論

＜審議内容・結果＞ 決議番号：102/2018

- 投票段階でTC 68（金融サービス）、TC207（環境管理）、TC309（組織のガバナンス）との重複に関する指摘が多数あったことに留意。
- 新TCの設立、幹事国のBSI（英）への割当てを承認。
- TC 68、TC207、TC309及び各TCの関係SCとリエゾンを組み、3者で調整の上、遅くとも2019年9月TMBまでにスコープを明確化し、TMBに報告を依頼。

【議題5.3.1】 新規分野提案におけるwebでのQ&Aセッション

＜背景＞

- 2017年12月、新規分野提案に関するweb sessionの実施を承認。
- 現在までに8つの提案に対して、12回のweb sessionを開催。時差を考慮して、1提案に対して複数回の時間を設けたりすることで投票率が増加。
- 提案国によるフォローアップの結果は好評。
- Zoom導入後、通信面での問題も減少。

＜審議内容・結果＞ 決議番号：103/2018

- 新規分野提案における情報共有、議論及び明確化に有用なweb sessionの継続開催を推奨。
- TMB事務局に対して、web sessionに出席者できる者の明確化と参加者増加のための周知を依頼。

【議題5.3.2】 Data compression technology

<背景>

- UNI（イタリア）がData compression technologyに関する新TCの設立を提案。
- JTC1/SC29(WG11)とのスコープの重複等の問題について、ISO/CSとUNIとの間で複数回の意見交換を実施。

<審議内容・結果> 決議番号：104 /2018

- UNI提案の Data compression technology は、既にJTC1/SC29の下で議論されているため、ISO/SCにメンバーへの回覧中止を指示。
- ISO/CSとInformation Technology Task Force (ITTF)に対して、UNI-ISO/IEC/JTC1内の関係委員会に問題の整理及び解決並びにTMBへの報告を指示。

【議題5.3.3】 新規分野の提案状況(2018/10/22時点)

設立	提案国	委員会
TS/P 272 Karst	中国	ISO/TC319
TMB/NP Tableware, giftware, jewelry, luminaries — Glass clarity — Classification and test method	フランス	ISO/PC320
TS/P 273 Transaction assurance E-commerce	中国・フランス	ISO/TC321
TS/P274 Sustainable finance	イギリス	ISO/TC322
TS/P275 Circular economy	フランス	ISO/TC323
投票中	提案国	締切日
TS/P 276 Sharing Economy	日本	2018/11/21
IWA	提案国	ステータス
IWA on Screening of GMOs in Cotton and textiles	オランダ	TMB Resolution67/2018 で承認
IWA on Using ISO 31000 guidance on risk management in management systems	イギリス	TMB Resolution68/2018 で承認

【追加議題】 TS/P 275 Circular Economy の設立

＜提案内容＞

- AFNOR（フランス）より、TS/P 275 Circular Economyの提案。
商業団体、公共サービス、非営利団体といった循環型プロジェクトの実施を希望する任意団体に適用され、ISO/TC207（環境管理）の対象を除外。
- 想定される規格内容は以下のとおり。
 1. 循環経済に関するマネジメントシステム
 2. 実証ガイドライン
 3. 循環経済における用語、実行指標、マトリックス及び評価といった規格開発ツールの開発
 4. 循環経済プロジェクトの産業共生や機能経済性といった問題に関するガイドライン

＜審議内容・結果＞ 決議番号：105/2018

- 新TCの設立、幹事国のAFNOR（仏）への割当を承認。
- 投票段階におけるTC 207 との重複についての指摘を考慮。
- TC207と関係するSCとリエゾンを組んでスコープを見直し、修正・明確化したスコープを遅くとも2019年9月のTMB会合で報告。

【ご案内】第74回 ISO/TMB会合

第74回 ISO/TMB会合は日本がホストし、京都で開催。

- 日程：平成31年2月27日（水）～3月1日（金）
- 場所：ハイアット・リージェンシー京都
- プログラム：
 - 2月27日～28日 TMB本会合
 - 3月1日 ワークショップ（一般参加可）



3月1日 ワークショップ

- テーマはISOの規格開発プロセスにおけるプロジェクトマネジメントについて
- スピーカーによるプレゼンテーションの後、ファシリテーター（TMBメンバー）を中心に議論

【お願い】プロジェクトマネジメントに関するアンケート

- 第74回 ISO/TMB会合開催に併せて、3月1日(金)にハイアットリージェンシー京都でプロジェクトマネジメントに関するワークショップを開催。
- 2冊の Broschüre をご確認ください、「理想的なものなのか?」、「実現可能性があるものなのか?」、「どうすれば改善できるのか?」等のアンケートを実施。
- 後日、JSAからアンケートを配布、〆切りは11月30日(金)を予定。
- ご意見はオンラインでご提出いただくことを予定。



(左) ISO環境でのプロジェクト管理手法

対訳版: https://www.jsa.or.jp/datas/media/10000/md_3378.pdf

(右) プロジェクト管理手法—役割、責任及び能力要件

対訳版: https://www.jsa.or.jp/datas/media/10000/md_3530.pdf

幅広いご意見お待ちしております！

御清聴ありがとうございました

経済産業省～「標準化・認証」の紹介ページ

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/kijyun/index.html>

日本工業標準調査会ホームページ

<http://www.jisc.go.jp/>